



平成26年度 「かわまちづくり」計画の登録について（下半期分）

国土交通省では、「かわまちづくり」支援制度に係る計画について新たに9件の登録を行いました。九州においては、新たに4件が登録され、既に認定・登録済みの1件の計画について変更しましたのでお知らせいたします。

…別紙1

○九州における《かわまちづくり》新規登録箇所 4件

（九州の認定・登録件数は25件になります。）

・ さがけんからつし まつうらがわ 佐賀県唐津市（松浦川） …別紙2

・ くまもとけんかみましきぐんこうさまち みどりかわ 熊本県上益城郡甲佐町（緑川） …別紙3

・ ふくおかけんく るめし ちくごがわ 福岡県久留米市（筑後川） …別紙4

・ くまもとけんやつしるし くまがわ 熊本県八代市（球磨川） …別紙5

○九州における《かわまちづくり》計画変更箇所 1件

・ ふくおかけんふくおかし なかがわ 福岡県福岡市（那珂川） …別紙6

※「かわまちづくり」支援制度

地域の景観、歴史、文化等を活かし、地方公共団体や地域住民との連携の下で、河川空間とまち空間の融合が図られた良好な空間形成を目指す取組である「かわまちづくり」を、治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備等を通じて支援する制度。（平成21年度から実施）…別紙7

平成27年4月2日

国土交通省 九州地方整備局

◆問い合わせ先	九州地方整備局	TEL 092-471-6331(代表)
河川部	河川環境課長	<small>かわぐち</small> 川口 (内線 3651) (直通 092-476-3525)
	地域河川課長	<small>かへ</small> 鹿毛 (内線 3811) (直通 092-476-3524)
	河川環境課長補佐	<small>いわさき</small> 岩崎 (内線 3652) (直通 092-476-3525)
	地域河川課長補佐	<small>やなぎた</small> 柳田 (内線 3812) (直通 092-476-3524)

○「かわまちづくり」計画の登録箇所一覧(新規4箇所)

都県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
さが 佐賀県	からつ 唐津市	まつうらがわ 松浦川	まつうらがわ 松浦川	かこうぶ 河口部地区 かわまちづくり	国土交通省 唐津市	<p>唐津市では、「唐津市都市計画マスタープラン」を策定し、将来の都市構造を形成していく上での重要な骨組み「都市骨格」として松浦川を位置づけている。この中で、松浦川沿いの公共施設整備の一環として、一部併用されている河畔遊歩道をはじめ、身近に水辺を感じることでできる“水辺の回廊ゾーン”の整備に、地域住民が主体となった検討を進めながら実現化に取り組むことが盛り込まれている。</p> <p>本計画では、水辺整備の実施により“水辺の回廊ゾーン”としての利活用が向上し、また、当該地区を「人と川とのふれあいの場」として、地域住民による干潟での環境学習や体験活動等の利活用を促進し、市民と行政との協働によるまちづくりにより、地域の活性化を推進する。</p>
くまもと 熊本県	こうさ 甲佐町	みどりかわ 緑川	みどりかわ 緑川	こうさ 甲佐地区 かわまちづくり	国土交通省 甲佐町	<p>緑川の良い自然環境や古くからの地域住民との関わり合いを活かし、甲佐町の「まちづくり」と緑川の「かわづくり」の一体化を図る。</p> <p>また、緑川を軸とした地域の活性化、イベント開催の場としての観光誘致、様々な世代が集う水辺拠点として地域交流を促進するとともに、河川空間利用者の安全性の向上、河川巡視・河川管理の円滑化を図ることを目的に、事業を進めていく。</p>
ふくおか 福岡県	くるめ 久留米市	ちくごかわ 筑後川	ちくごかわ 筑後川	みや しん 宮ノ陣地区 かわまちづくり	国土交通省 久留米市	<p>地域の河川敷において、スポーツ大会や各種イベントが開催可能な多目的広場、筑後川にふれあう水辺、散策路等を整備することによって、多様な利活用を行い、また、地域の交流拠点としての水辺を創出することにより、人とひとがつながる空間、地域がにぎわう河川空間の創出を推進する計画である。</p>
くまもと 熊本県	やつしろ 八代市	くまがわ 球磨川	くまがわ 球磨川	しんはきはらばし 新萩原橋 しゅうへん 周辺地区 かわまちづくり	国土交通省 八代市	<p>新萩原橋周辺地区の球磨川河川緑地は、ウォーキングやジョギング、地元ボート部のレガッタの練習に利用されているほか、春には「九州国際スリーデーマーチ」、夏は「くま川祭り」、秋は「やつしろ全国花火競技大会」と、年間を通じて多くの市民と観光客に利用されている。本事業では、水際へ安全に近づけるようにすることで、カヌーや環境学習等の水面利用ができる場を整備するほか、萩原堤や石はねといった地域の歴史上重要な遺構を、自然と調和し、風格ある河川空間として新たに創出する。また、約400年前に加藤清正により築造されと言われる「八の字堰」を再現した床固めを遙拝堰の直下に整備し、アユ等の生物に配慮した瀬・淵のある多様な流れの再生を図る。整備された各拠点は、ウォーキングやサイクリングによって周辺の文化財や史跡といった見所との回遊性・連続性を持たせ、街と球磨川のつながりを向上させる。</p>

○「かわまちづくり」計画の変更箇所一覧(変更1箇所)

都県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
ふくおか 福岡県	ふくおか 福岡市	なかがわ 那珂川	なかがわ 那珂川 やくいんしんかわ 薬院新川 はかたがわ 博多川	なかがわ 那珂川 かわまちづくり	福岡県 福岡市	<p>那珂川は、福岡市の中心部を貫流する福岡市を代表する河川の一つであり、番托井堰の下流は、平成21年までに河川改修に併せて遊歩道等の整備がなされるとともに、支川も含め、地域主体の祭りやイベント、憩いの場などに活用されており、多くの市民や観光客に親しまれている。</p> <p>番托井堰上流は、平成21年7月の洪水を受けて実施されている河川改修事業に伴う井堰改築により水位が低下し、平成27年に河川内に新たな敷地が生じる。</p> <p>本計画では、この新たな敷地等を活用して、番托井堰上流に向けて、福岡県が遊歩道等の整備を行い、河川を身近に感じられる空間を創出する。また、あわせて福岡市や市民団体が共働で活動を行うことにより、地域の魅力を高める。</p>

かこうぶ  
**「河口部地区かわまちづくり」**  
 (直轄・国土交通省、唐津市)

市町村名:佐賀県唐津市

対象河川:松浦川水系松浦川

## 1. 概要

唐津市では、「唐津市都市計画マスタープラン」を策定し、将来の都市構造を形成していく上での重要な骨組み「都市骨格」として松浦川を位置づけている。この中で、松浦川沿いの公共施設整備の一環として、一部併用されている河畔遊歩道をはじめ、身近に水辺を感じることでできる“水辺の回廊ゾーン”の整備に、地域住民が主体となった検討を進めながら実現化に取り組むことが盛り込まれている。

本水辺整備の実施により“水辺の回廊ゾーン”としての利活用が向上し、また、当該地区を「人と川とのふれあいの場」として、地域住民による干潟での環境学習や体験活動等の利活用を促進し、市民と行政との協働によるまちづくりにより、地域の活性化を推進する。

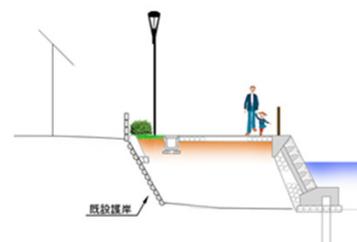
## 2. 整備内容

【国土交通省】護岸、管理用通路

【唐津市】防護柵 等



### 整備イメージ



# 「<sup>こうさ</sup>甲佐地区かわまちづくり」 (直轄・国土交通省、甲佐町)

市町村名： 熊本県 甲佐町

対象河川： 緑川水系緑川

## 1. 概要

緑川の良い自然環境や古くからの地域住民との関わり合いを活かし、甲佐町の「まちづくり」と緑川の「かわづくり」の一体化を図る。また、緑川を軸とした地域の活性化、イベント開催の場としての観光誘致、様々な世代が集う水辺拠点として地域交流を促進するとともに、河川空間利用者の安全性の向上、河川巡視・河川管理の円滑化を図ることを目的に、事業を進めていく。

## 2. 整備内容

「甲佐地区かわまちづくり」では、安津橋上流側を拠点地区として、甲佐町のまちづくり構想と連携し、「まちづくり」と「かわづくり」が融合した魅力的な空間づくりを目指す。

### 【国土交通省】

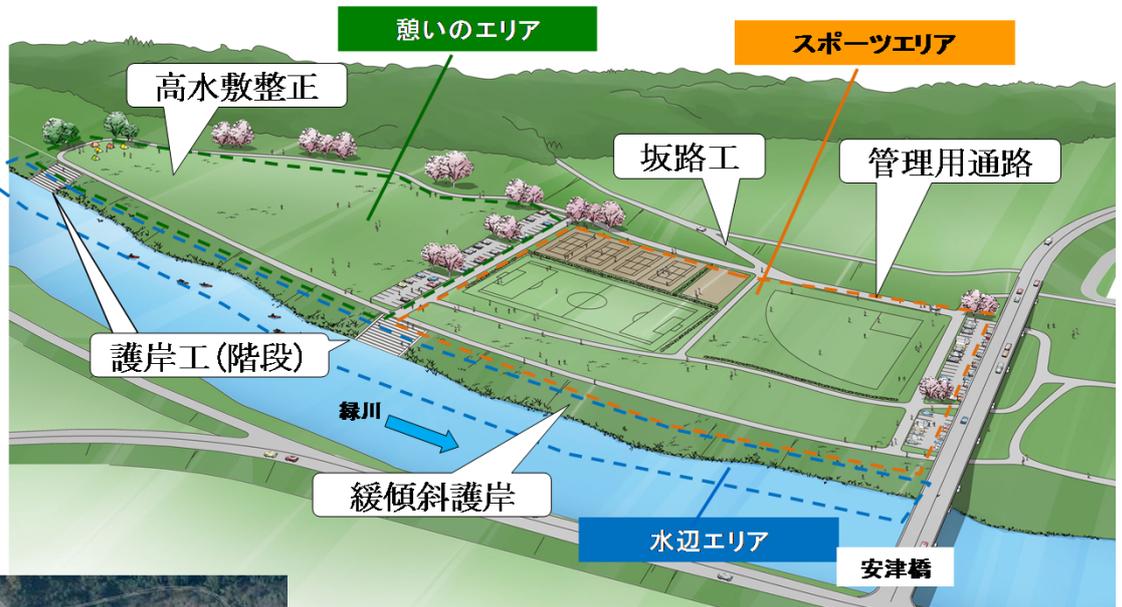
- ・高水敷整正
- ・カヌーなどの水面利用や環境学習ができる階段護岸
- ・水際に安全に近づくことができる緩傾斜護岸
- ・管理用通路・坂路

### 【甲佐町】

- ・照明設備、トイレ 等
- ・既存の道路等を活用し、甲佐地区と周辺の観光資源等との回遊性を向上



甲佐地区位置



### イメージパース



平面図



整備イメージ(事例)

# 「宮ノ陣地区かわまちづくり」 (直轄・国土交通省、久留米市)

市町村名:福岡県久留米市

対象河川:筑後川水系筑後川

## 1. 概要

久留米市宮ノ陣地区の河川敷は、リバーサイド基本計画区域となっているものの、雑草が繁茂しており、水辺へのアクセスが困難な状況にある。一方で、宮ノ陣校区は、新しく住宅団地、工業団地の分布による人口増などを含めて農、商、工、住など多彩な変化をしており、また、もともと、スポーツ等が盛んな地域でもあり、過去には久留米オリンピック総合優勝を果たすなど、地域の結束の強さがみられる。対岸には筑後川防災施設くるめウスが位置しており、水辺の体験学習や安全講習会、地域間交流のイベント等が開催されるなど、筑後川に親しみ、学ぶ人々が集う拠点となっている。地域の河川敷において、スポーツ大会や各種イベントが開催可能な多目的広場、筑後川にふれあう水辺、散策路等を整備することによって、多様な利活用を行い、また、地域の交流拠点としての水辺を創出することにより、さらに魅力あるまちづくりを進めていく。

## 2. 整備内容

【国土交通省】 管理用通路、管理用通路（坂路）、階段工、高水敷整正  
 【久留米市】 芝張り、土系舗装、駐車場整備、園路、遊具、植栽

位置図



整備イメージ



しんはぎわはらばし  
「新萩原橋周辺地区かわまちづくり」  
(直轄・国土交通省、八代市)

市町村名:熊本県八代市

対象河川: 球磨川水系 球磨川・前川

## 1. 概要

新萩原橋周辺地区の球磨川河川緑地は、ウォーキングやジョギング、地元ボート部のレガッタの練習に利用されているほか、春には「九州国際スリーデーマーチ」、夏は「くま川祭り」、秋は「やつしろ全国花火競技大会」と、年間を通じて多くの市民と観光客に利用されている。

本事業では、カヌーや環境学習等の水面利用ができる場を整備するほか、萩原堤や石はねといった地域の歴史上重要な遺構を、自然と調和し、風格ある河川空間として新たに創出する。また、約400年前に加藤清正により築造されたと言われる「八の字堰」を再現した床固めを遙拝堰の直下に整備し、アユ等の生物に配慮した瀬・淵のある多様な流れの再生を図る。

整備された各拠点は、ウォーキングやサイクリングによって周辺の文化財や史跡といった見所との回遊性・連続性を持たせ、街と球磨川のつながりを向上させる。

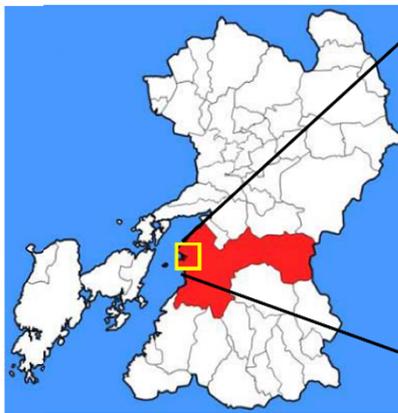
## 2. 整備内容

### 【国土交通省】

- ・高水敷整正
- ・管理用通路(坂路含む)
- ・親水護岸整備(階段)
- ・石刳(いしはね)の保全(水制工)
- ・河床整正

### 【八代市】

- ・芝張り
- ・利用施設(駐車場、トイレ設置、案内看板 等)



### 渡町エリア(遊び・スポーツ)

- 【整備内容】
- ・高水敷整正・芝張り
  - ・護岸整備(階段)
  - ・管理用通路(坂路を含む)
  - ・その他 利用施設(駐車場、トイレ等)

### 歴史的遺構へのアクセス

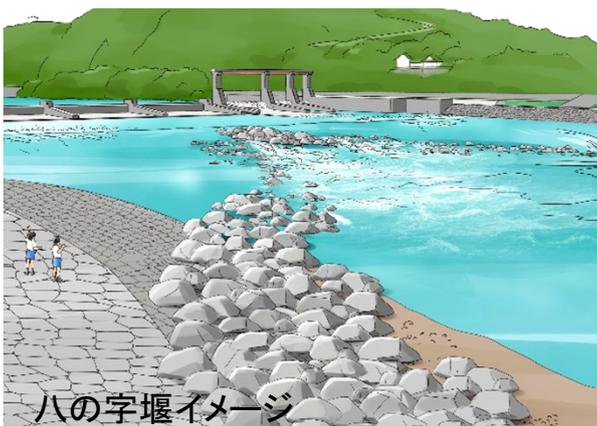
- 【整備内容】
- ・管理用通路(坂路を含む)
  - ・その他 利用施設(案内看板等)

### 萩原エリア(健康増進・休憩)

- 【整備内容】
- ・石刳(いしはね)の復元
  - ・管理用通路(坂路を含む)
  - ・並木の復元
  - ・その他 利用施設(案内看板等)

### 遙拝堰下流エリア(学習・食)

- 【整備内容】
- ・八の字の床固め
  - ・高水敷整正
  - ・管理用通路(坂路を含む)
  - ・その他 利用施設(駐車場、案内看板等)



八の字堰イメージ



石刳(いしはね)イメージ

# 「那珂川かわまちづくり」(補助・福岡市)(変更)

市町村名： 福岡県福岡市

対象河川： 二級河川那珂川水系那珂川、なかがわ薬院新川、やくいんしんかわ博多川、はかたがわ博多川

## 1. 概要

那珂川は、福岡市の中心部を貫流する福岡市を代表する河川の一つであり、番托井堰の下流は、平成21年までに河川改修に併せて遊歩道等の整備がなされるとともに、支川も含め、地域主体の祭りやイベント、憩いの場などに活用されており、多くの市民や観光客に親しまれている。

番托井堰上流は、平成21年7月の洪水を受けて実施されている河川改修事業に伴う井堰改築により水位が低下し、平成27年に河川内に新たな敷地が生じる。

本計画では、この新たな敷地等を活用して、番托井堰上流に向けて、福岡県が遊歩道等の整備を行い、河川を身近に感じられる空間を創出する。また、あわせて福岡市や市民団体が共働で活動を行うことにより、地域の魅力を高める。

## 2. 整備内容

河川改修に併せた遊歩道、アクセス階段整備 等

水辺空間魅力創出の取り組み (H18~)

那珂川河畔オープンカフェ

博多川納涼舞台

遊歩道整備等 (H3~21)

リバーフロントプレイス

遊歩道整備等 (H27~)

ウォーキング大会

カヌー体験

# かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

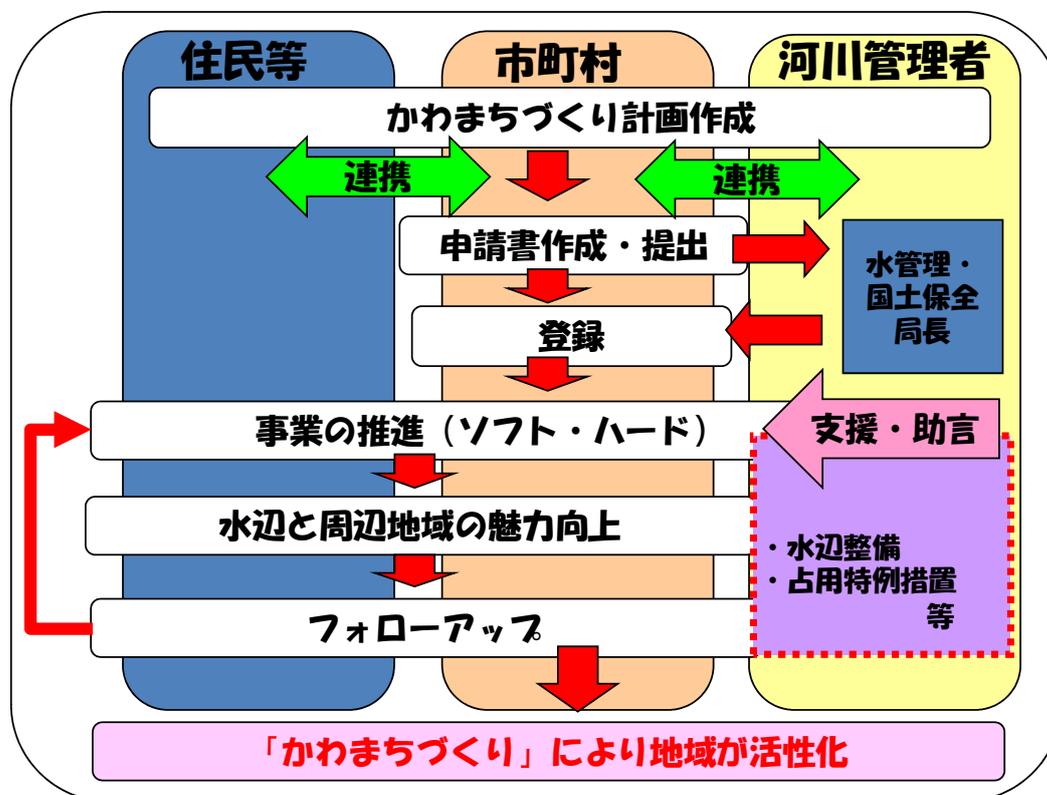
## ○事業概要

**ソフト支援**：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

**ハード支援**：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ